

# 「すみません」や「I'm sorry」と言うとき、 私たちは何をしているのか

＜講師＞ 古田徹也氏（東京大学准教授／言語哲学）

「日本人はなんでもすぐに謝る（そして、そのくせ何もしてくれない）」——海外の方は日本人に対してしばしばそのような印象をもちます。そして、日本人自身もしばしばそう自認しています。ただ、これは粗雑な認識と言わざるをえません。

確かに、日本人は日常のさまざまな場面で「すみません」（および「ごめんなさい」等々）という言葉頻りに用いますし、英語圏の国々を旅するときなどには、「sorry」という言葉を多用しがちです。ただ、そうしたケースのすべてで謝罪という行為がおこなわれているとは限りません。

本講義では、「すみません」や「I'm sorry」という発話がそれぞれどのような（多様な）意味をもつのかを、両者の比較も交えて探究することで、人間の言語行為の複雑さや奥行き的一端を明らかにしたいと思います。

.....

・ 講師略歴：

・ 1979年生まれ。東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了。博士（文学）。現在、東京大学大学院人文社会系研究科准教授。専門は、ウィットゲンシュタイン研究、言語哲学、行為の哲学、心の哲学。  
・ 『言葉の魂の哲学』（講談社選書メチエ）で第41回サントリー学芸賞受賞。その他の著書に、『それは私がしたことなのか』（新曜社）、『ウィットゲンシュタイン 論理哲学論考』（角川選書）、『不道德的倫理学講義』（ちくま新書）、『はじめてのウィットゲンシュタイン』（NHKブックス）、『いつもの言葉を哲学する』（朝日新書）、『このゲームにはゴールがない』（筑摩書房）、『謝罪論』（柏書房）など。

.....

＜日時＞ 2024年7月13日(土) 14:00～17:00

＜参加費＞ 2,000円(税込) ※事前振込制

＜申込み＞ 公式サイト「[申込フォーム](#)」もしくはQRコードよりお申込ください。

＜申込期間＞ 6月7日(金)10:00AM～7月8日(月)10:00AMまで

＜受講形式＞ 対面(先着20名)、およびZOOMによるオンライン講義併用



※諸般の都合により急遽全てオンラインに切り替わる場合もございます。  
その際も受講料の返金はいたしませんのでご了承ください。

＜注意事項＞

- ・オンライン講義の録画はできません。  
本番の視聴のみできます。
- ・一度お振込になった受講料は、返金いたしません。

＜受講の流れ＞

1. 申込期間 6月7日(金)～7月8日(月)10:00AM
2. 受講料の振込み期日 申込期日と同日
3. ZOOM 視聴 URL を受け取る／7月10日(水)
4. 当日 13:45～14:00 に本番用 URL で入室。  
14:00 より講義開始。(対面講義の開場は 13:30～)

＜受講料の振込先＞

- 郵便振替 00110-8-43537  
(名義)財団法人 ラボ国際交流センター
- 銀行振込  
りそな銀行〈銀行コード番号 0010〉  
新都心営業部支店〈支店番号 675〉  
普通預金 口座番号 6726641  
(名義)財団法人ラボ国際交流センター  
ザイ)ラボココサイコウリュウセンター

＜問合せ先＞

一般財団法人 ラボ国際交流センター 東京言語研究所 〒169-0072 新宿区大久保 1-3-21  
TEL:03-6233-0631 E-mai :tokyogengo@labo-global.co.jp 公式サイト:http://www.tokyo-gengo.gr.jp/